

社会福祉施設及び介護サービス施設における 洗濯及び浴室の洗浄・消毒作業 化学物質管理マニュアル

- 業務で薬品類（化学物質等）を使用している事業所は、使用している薬品類の危険性・有害性を把握して、自らの業務におけるリスクを見積もり、適切な対策（リスク低減措置）をとることが求められます。
- 本マニュアルは、社会福祉施設及び介護サービス施設を含む福祉サービス提供事業者施設における洗濯および浴室の洗浄・消毒作業において適切なリスク低減措置を目的に、厚生労働省の指針¹⁾に対応したものです。

このマニュアルでできること

- ✓ 作業ごとに労働者がばく露される物質の濃度を測定することなくその作業におけるリスクアセスメントを実施できます。
- ✓ 定められた措置を適切に実施することで、その作業において、リスク低減措置を実施することができます。

このマニュアルが適用される作業

- ① **希釈・小分け**：洗浄剤や消毒剤の原液を希釈し、小分け容器に移す一連の作業
- ② **洗濯機への洗剤等の投入作業**：洗濯機に洗剤、柔軟剤等を投入する作業
- ③ **浴室等の通常清掃**：浴槽や浴室を使用後に洗剤、ブラシ、スポンジ等を用いて洗浄する作業
- ④ **浴室カビ取り等の清掃**：カビ取り剤を使用して浴室内の黒カビ等を除去する作業

※ここに記載していない作業はこのマニュアルの適用範囲外で、使用できません。
※手順の詳細は付属の解説テキストをご覧ください。

- 1) 化学物質等による危険性又は有害性等の調査等に関する指針（平成 27 年 9 月 18 日 危険性又は有害性等の調査等に関する指針公示第 3 号、令和 5 年 4 月 27 日 危険性又は有害性等の調査等に関する指針公示第 4 号により一部改正）

チェック・確認実施日		回数	
------------	--	----	--

対象者の情報

化学物質管理者	
保護具着用管理責任者	
作業員	

業務経験等の情報


新人スタッフの有無	▼プルダウンリストから選択	外国籍のスタッフ有無	▼プルダウンリストから選択
-----------	---------------	------------	---------------

作業の情報

対象の作業	▼プルダウンリストから選択
具体的作業内容	

使用している製品（洗剤、消毒剤など）

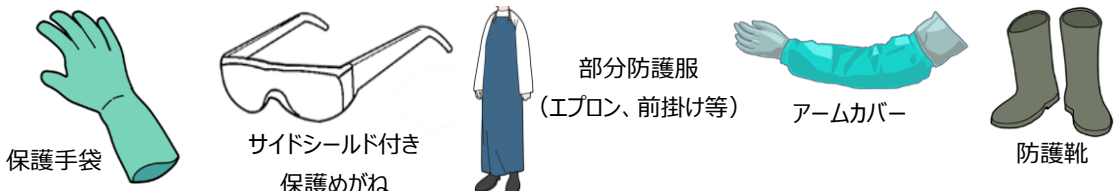
製品名称	絵表示 製品に表示されている絵表示 に☐を入れる。	含有している主な成分	含有率	保護具 着用義務
	<input type="checkbox"/>  注 <input type="checkbox"/> 	▼ブルダウリストから選択		自動表示
	<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> 	▼ブルダウリストから選択		自動表示
	<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> 	▼ブルダウリストから選択		自動表示
	<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> 	▼ブルダウリストから選択		自動表示
	<input type="checkbox"/>  注 <input type="checkbox"/> 	▼ブルダウリストから選択		自動表示
	<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> 	▼ブルダウリストから選択		自動表示
	<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> 	▼ブルダウリストから選択		自動表示
	<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> 	▼ブルダウリストから選択		自動表示

注  左記の絵表示（腐食性）がある製品を使うときは、保護手袋や保護めがねの具の着用が法令により義務付けられています。なお、着用義務が「－」であっても、着用が勧められます。

主な成分の性質

No.	成分名	性質
1	次亜塩素酸ナトリウム	塩素系殺菌漂白剤の主成分で強い殺菌・漂白効果を持つ。アルカリ性の水溶液で安定で通常は水酸化ナトリウムが含まれる。酸性にすると、有毒な塩素ガスを発生する。溶液タイプの酸素系漂白剤、塩酸、クエン酸、食酢などと混ぜてはいけない。皮膚刺激性あり。アルカリの効果で刺激性が増強されている。
2	水酸化ナトリウム ／水酸化カリウム	強いタンパク質変性作用、脂質分解作用を持つ。皮膚に付着させておくと遅延性の不可逆的損傷を起こすことがあるので、皮膚や眼に直接付着した時は直ちにシャワーや流水で充分水洗する。
3	エタノール	引火性液体。70%程度の濃度で細菌やウイルスに対する強い殺菌効果があるが、漂白効果はない。手指消毒や器具の消毒に使用される。
4	過酸化水素	衣料用の酸素系漂白剤の主成分。殺菌作用もある。6%を超える濃度の過酸化水素水は毒劇法上の劇物。衣類又は食器用漂白剤や医療用消毒剤のオキシドールはもっと低濃度で市販される。液体タイプの酸素系漂白剤と塩素系漂白剤と混合すると塩素ガスを発生し危険。粉末タイプの過炭酸ナトリウムは消防法の危険物でその漂白・殺菌成分の本質は過酸化水素。
5	界面活性剤	水と油を混ざりやすくする物質の総称。その特性から皮膚刺激性あり。わずかな構造の違いで特性が大幅に変わることがあるので、目的に応じて多数のものが組み合わされて使用されている。皮膚刺激性も小さいものから、大きいものまでさまざまである。
6	イソプロピルアルコール	引火性液体。医薬品として承認されていないものは5%以上の含有で有機溶媒中毒予防規則（有機則）の規制を受ける。特有の臭気がある。エタノールよりも抗菌範囲は狭く、脱脂作用は強い。

リスク低減対策

使用する保護具																							
保護具の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○皮膚等障害化学物質を含む場合、保護手袋、保護衣は不浸透性のものを選択する。 ○手袋着用前には、傷・穴あき確認を実施する。 ○手袋を脱ぐ際には、手袋に付着する化学物質が身体に付着しないよう、化学物質の付着面が内側になるように脱ぐ。 																						
保護具以外の共通して実施すべき対策	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">対策項目</th> <th style="text-align: center; background-color: #ff0000; color: white;">チェック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○新規に洗浄剤等を導入する場合、SDSやラベルでpH又は酸性かアルカリ性かを確認する。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○塩素系殺菌漂白剤と酸素系殺菌漂白剤を併用している場合、どちらか一方に集約することを検討する。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○洗浄剤等の保存庫は常時施錠する。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○希釈は説明書の指定の範囲で行う。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○小分け容器や詰替え容器は1種類の製品だけで使用し、大容量製品と小分け容器の関係が分かるようにカラーテープなどを貼るなど工夫する。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○洗浄剤の小分け容器には、「洗浄剤の名称」、「人体に及ぼす作用」、「希釈倍率」、「作成日」、「混ぜるな危険（必要に応じて）」記載したラベルを貼付する。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○作業中は必要に応じて換気扇を作動させる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○作業の終了後は、すぐに手を洗う。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td> </td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td> </td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>	対策項目	チェック	○新規に洗浄剤等を導入する場合、SDSやラベルでpH又は酸性かアルカリ性かを確認する。	<input type="checkbox"/>	○塩素系殺菌漂白剤と酸素系殺菌漂白剤を併用している場合、どちらか一方に集約することを検討する。	<input type="checkbox"/>	○洗浄剤等の保存庫は常時施錠する。	<input type="checkbox"/>	○希釈は説明書の指定の範囲で行う。	<input type="checkbox"/>	○小分け容器や詰替え容器は1種類の製品だけで使用し、大容量製品と小分け容器の関係が分かるようにカラーテープなどを貼るなど工夫する。	<input type="checkbox"/>	○洗浄剤の小分け容器には、「洗浄剤の名称」、「人体に及ぼす作用」、「希釈倍率」、「作成日」、「混ぜるな危険（必要に応じて）」記載したラベルを貼付する。	<input type="checkbox"/>	○作業中は必要に応じて換気扇を作動させる。	<input type="checkbox"/>	○作業の終了後は、すぐに手を洗う。	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
対策項目	チェック																						
○新規に洗浄剤等を導入する場合、SDSやラベルでpH又は酸性かアルカリ性かを確認する。	<input type="checkbox"/>																						
○塩素系殺菌漂白剤と酸素系殺菌漂白剤を併用している場合、どちらか一方に集約することを検討する。	<input type="checkbox"/>																						
○洗浄剤等の保存庫は常時施錠する。	<input type="checkbox"/>																						
○希釈は説明書の指定の範囲で行う。	<input type="checkbox"/>																						
○小分け容器や詰替え容器は1種類の製品だけで使用し、大容量製品と小分け容器の関係が分かるようにカラーテープなどを貼るなど工夫する。	<input type="checkbox"/>																						
○洗浄剤の小分け容器には、「洗浄剤の名称」、「人体に及ぼす作用」、「希釈倍率」、「作成日」、「混ぜるな危険（必要に応じて）」記載したラベルを貼付する。	<input type="checkbox"/>																						
○作業中は必要に応じて換気扇を作動させる。	<input type="checkbox"/>																						
○作業の終了後は、すぐに手を洗う。	<input type="checkbox"/>																						
	<input type="checkbox"/>																						
	<input type="checkbox"/>																						

作業と保護具のポイント

作業項目	①	②	③	④
	希釈・小分け	洗濯機への 洗剤等の投入作業	浴室等の通常清掃 (カビ取りは行わない)	浴室のカビ取り清掃
吸入対策	<input type="checkbox"/> 原則不要			
保護手袋	<input type="checkbox"/> ニトリルゴム製の不浸透性手袋を使用する。			
保護めがね	<input type="checkbox"/> サイドシールド付き 保護めがね	<input type="checkbox"/> 原則不要	<input type="checkbox"/> サイドシールド付き 保護めがね	<input type="checkbox"/> サイドシールド付き 又は ゴーグル型 保護めがね
保護衣	<input type="checkbox"/> アルカリ性の洗浄剤を使用する場合は、防水性の部分防護服（エプロン・前掛け等）、アームカバーを着用する。	<input type="checkbox"/> 原則不要	<input type="checkbox"/> アルカリ性の洗浄剤を使用する場合は、防水性の部分防護服（エプロン・前掛け等）を着用する。	<input type="checkbox"/> 防水性のある防護服を着用する。

業務特有の 留意事項	<input type="checkbox"/> 希釈時は水しぶきが上がらないように水面近くでゆっくり投入する。	特になし	<input type="checkbox"/> 保護手袋に付着した洗剤が身体に付着しないよう留意する。付着が避けられない場合は、付着部位を覆う保護衣を着用する。	<input type="checkbox"/> 除菌・漂白剤の指示に従い、薬剤を吹き付けた後は規定時間、浴室外で待つ。
	<input type="checkbox"/> 小分け容器に移す際は漏斗を使用する。		<input type="checkbox"/> 入浴補助装置等が装着されている場合は装置等の取扱説明書をよく読んで対応する。	<input type="checkbox"/> 保護手袋に付着した洗剤が身体に付着しないよう留意する。付着が避けられない場合は、付着部位を覆う保護衣を着用する。
	<input type="checkbox"/> 希釈後の洗剤タンクや容器は、施錠して保管する。			<input type="checkbox"/> 高所への吹き付けは、適当な道具を使用する等の安全対策をとる。

異常の記録

日付	
内容	
再度リスクアセスメントを行う 必要性の有無	▼プルダウンリストから選択
緊急時の対応	○皮膚に付着した場合はすぐに拭き取り、石鹼水及び水で洗い流す。 炎症等が出た場合、速やかに医師の診断を受ける
	○眼に入った場合直ちに清浄な流水で数分間洗眼した後、 医療措置を受ける。なおラベルにアルカリ性と書いてある場合は、
	○誤って塩素ガスを発生させた場合は、 直ちに室外に避難し、その後可能な範囲で窓を開けるなどの対応をとる。 塩素ガスは低地に集まることから、避難する場合は屈まない。